

授業科目	*ウィメンズヘルスケア				単位	1		
履修	必修	関連資格			ナンバリング	MI21208J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP2-1 DP3-1 DP4-1			
担当教員	古賀 玉緒、山田 恵、前田 幸							
授業概要	助産師はすべての女性およびその家族の健康増進にむけた支援が求められる。本科目では、講義の他、事前学習や課題、ディスカッションなど取り入れながら進めていく。その中で、ライフステージ各期の身体的・心理社会的な特徴や変化に関する基礎的知識をふまえ、リプロダクティブヘルス/ライツの重要性、女性がおかれている社会状況やジェンダーにまつわる健康、特別に支援を要する女性の健康、社会における多様性に関する健康などウィメンズヘルス全般について学修する。							
学生が達成すべき行動目標	1.ライフステージ各期における対象の特徴を説明できる。 2.特別に支援を要する対象の特徴を説明できる。 3.ライフステージ各期のウィメンズヘルスケアについて根拠をふまえて説明できる。 4.ウィメンズヘルスケアに関する事前学習や課題、ディスカッション等に意欲的に取り組むことができる。 5.ウィメンズヘルスケアを実践するうえで助産師として必要な態度について述べるることができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	0	30	0	0	10	100	
知識・理解 (DP1-1)	60		5				65	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			15				15	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			10				10	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)						10	10	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベルに到達したうえで、現代社会における女性を取り巻く状況や自分自身の体調に目を向け、助産師として必要な態度について自分の意見を述べるることができる。				1.ライフステージ各期における対象の特徴を説明できる。 2.特別に支援を要する対象の特徴を説明できる。 3.ライフステージ各期のウィメンズヘルスケアについて根拠をふまえて説明できる。 4.ウィメンズヘルスケアに関する事前学習や課題、ディスカッション等に意欲的に取り組むことができる。 5.ウィメンズヘルスケアを実践するうえで助産師として必要な態度について述べるることができる。				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	生涯における女性のケア(1)(古賀 玉緒) ウィメンズヘルスケアの概論 ・女性のライフステージの特徴と健康課題について解説する。	講義	予習: 1. テキスト第2章1(4)、5を熟読しておくこと。なお、第1章に関する知識は修得しておくこと。 復習:講義内容について振り返りを行う。 進行1終了後:新聞記事や文献などから、各ステージにおける女性の健康問題と課題についてレポートし、次回からの講義に臨むこと。 進行②前日までに提出する。 (学生用も印刷し、次回からの講義に持参する)	60
2	生涯における女性のケア(2)(山田 恵) 思春期女性のケア ・思春期女性を取り巻く現状と健康問題及び支援について解説する。	講義	予習: 1. テキスト第2章2, 3, 第3章2,3,4, 第6章3,4, 第7章3(1-3)を熟読しておくこと。 2. 思春期・成熟期女性の健康問題や健康課題についての自己レポートを見直す。 復習:講義内容について振り返りを行う。	60
3	生涯における女性のケア(3)(山田 恵) 成熟期女性のケア ・成熟期女性を取り巻く現状と健康問題及び支援について解説する。	講義	予習: 1. テキスト第2章2, 3, 第3章2,3,4, 第6章3,4, 第7章3(1-3)を熟読しておくこと。 2. 思春期・成熟期女性の健康問題や健康課題についての自己レポートを見直す。 復習:講義内容について振り返りを行う。	60
4	生涯における女性のケア(4)(古賀 玉緒) 中高年期の女性のケア ・更年期・老年期の女性を取り巻く現状と健康問題及び支援について解説する。	講義	予習: 1. テキスト第2章4, 第7章3(4)を熟読しておくこと。 2. 更年期・老年期女性の健康問題や健康課題についての自己レポートを見直す。 復習:講義内容について振り返りを行う。	60
5	特別に支援を要する女性へのケア(1) (前田 幸) ・マイノリティな性をもつ女性取り巻く現状と健康問題及び支援について解説する。	講義	予習: 1. テキスト第4章(1-4)を熟読しておくこと。 復習:講義内容について振り返りを行う。	60
6	特別に支援を要する女性へのケア(2) (前田 幸) ・マイノリティな性をもつ女性取り巻く現状と健康問題及び支援について解説する。 女性の健康課題に対する助産師の役割を学ぶ。(古賀 玉緒)	講義 ディスカッション	予習: 1. テキスト第4章、第5章を熟読しておくこと。 2. 女性の健康課題に対する助産師の役割をまとめる。(詳細は別途提示する)	60

	・事例を用いて各ライフステージにある女性の健康課題に対する支援について意見交換を行う。		復習:講義内容について振り返りを行う。	
7	特別に支援を要する女性へのケア(3) (外部講師 蔵本 武志) ・不妊に悩む女性への支援 不妊に関する現状と治療について解説する。	講義	予習 1. 新聞記事などから不妊に関する女性の話題や健康課題などについて情報収集して講義に臨むこと。	60
8	特別に支援を要する女性へのケア(4) (外部講師 久保島 美佳) ・不妊に悩む女性への支援 不妊治療を受ける女性のケアについて解説する。	講義	1. 第3章1を熟読しておくこと。 2. 参考図書を熟読しておくこと。(範囲は別途提示)復習:講義内容について振り返りを行う。	30
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				

29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<p>助産の重要な専門科目であり、広い分野に応用できる内容です。。</p> <p>テキストは熟読し、さらにメディアや文献などからも女性の健康について情報を収集し、講義内のディスカッションで活用できるように準備しておきましょう。</p>			
テキスト	<p>助産師基礎教育テキスト 2023 年版第2巻 ウィメンズヘルスケア 吉沢豊予子編著 日本看護協会出版社 2023</p> <p>病気が見える Vol.9 第4版,井上裕美他監,MEDIC MEDIA 2018</p>			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>助産学講座 2 基礎助産学[2] 母子の基礎科学 第6版 我部山キヨ子他編 医学書院 2021</p> <p>助産学講座 3 基礎助産学[3] 母子の健康科学 第6版 我部山キヨ子他編 医学書院 2023</p> <p>助産学講座 4 基礎助産学[4] 母子の心理・社会学 第6版 我部山キヨ子他編 医学書院 2022</p> <p>助産学講座 5 助産診断技術学 I 第6版 堀内成子他編 医学書院 2021</p> <p>助産学講座 9 地域母子保健・国際母子保健 第6版 我部山キヨ子他編 医学書院 2023</p> <p>助産師による思春期の健康教育 公益社団法人 日本助産師会 2020</p> <p>妊心 蔵本武志著 文芸社 2014</p> <p>随時資料を配布します。</p> <p>教材:婦人体温計(各自準備)</p>			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>婦人体温計を各自準備し、BBTを測定してください。(初回講義後3か月程度)</p> <p>自身の身体の変化を把握し、アセスメントしてレポートにまとめて提出して下さい。(詳細・提出期限は別途提示する)</p>			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	<p>評価は試験、レポート、ディスカッションの参加状況、課題やBBT測定の取り組みにより行います。</p> <p>提出物はコメントをして返却します。</p> <p>なお、上記評価にて不可の場合は、筆記にて再試験を行います。</p>			